

編集委員

委員長 佐藤 進

磯 水絵

高山 節也

町 泉寿郎

編集後記

『日本漢文学研究』第6号の編集は、日本漢文学研究教育プログラムが21世紀COEプログラムの編集委員会からその業務を引き継いでから2号目にあたる。編集母体の組織が縮小しているのに、いきおい原稿募集のスケールが小さくなった観が否めない。

ただし、二〇一〇年は我々にとって追い風になるような出来事があった。それは日本中国学会の全国大会において「日本漢学」の分科会が設けられ、予想を上回るほど充実した研究発表や討論がなされたことである。そこで、本プログラムの町泉寿郎氏と佐藤進が若手研究者の力作を本誌に獲得すべく、これと思う研究発表者をつかまえては依頼するという試みを行なった。そこで快諾を得たのが高田宗平・高山大毅両氏の論考である。力のこもった論文を本誌に掲載できることは編者らの大いなる喜びであるが、こうした若い研究者からもたらされた、『日本漢文学研究』は欠かさず拝読しておりますという反響には力づけられた。本誌創刊以来の編集担当者に感謝するとともに、今後も倦まずに出し続けることの意義を噛みしめたことである。

最後に、その分科会の学会担当理事として尽力された本プログラムのメンバーでもある牧角悦子氏には感謝申し上げたい。

(佐藤 進)